SOMPO JAPAN FOUNDATION NEWS　2002－4　　平成１５年１月

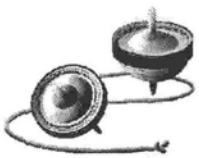
損保ジャパン記念財団 News

●発行者：財団法人損保ジャパン記念財団　〒160-0022　東京都新宿区新宿 3-1-16

TEL03-5919-0711 FAX03-5919-0710 http://www.sompo-japan.co.jp/foundation/ Eメール:fvgp3340@mb.infoweb.ne.jp



謹んで新年のお慶びを申し上げます。



財団法人　損保ジャパン記念財団

理事長　　有吉　孝一

当財団は、昨年７月「損保ジャパン記念財団」と名称を改め、今年は新たな四半世紀を迎えることになります。この間、障害者福祉活動に対する助成を中心とする「社会福祉事業」と社会福祉・社会保険・損害保険に関する学術研究助成を中心とする「福祉諸科学事業」を２本柱として事業を進めてまいりました。近年では、社会・経済環境の大きな変化－特に高齢化社会の到来と対応する社会福祉政策の動向－を踏まえ、社会ニーズを先取りする形で事業内容を大きく見直し、福祉活動分野においては「市民活動支援（ＮＰＯ法人設立支援・自動車購入費支援）」を、社会福祉の学術分野では「若手研究者の育成支援（社会福祉学術文献表彰）」の新たな事業に取り組み、微力ながらこれらの新事業も軌道に乗ってまいりました。これら当財団の活動内容や財団運営内容は、主務官庁である厚生労働省の検査においても高い評価をいただいておりますが、これも偏に財団関係者を始めとし損保ジャパン及びグループ会社並びに役職員・ＯＢ等、多くの皆様方の暖かいご支援・ご理解があっての賜と心から深く感謝申し上げる次第です。

２１世紀の我が国は、他の国に例を見ないスピードで高齢化社会を迎え、私たちの周りにも高齢者や障害者を含めハンディキャップを持つ方々が増えてまいりましたが、このような時代にあっては、国の一律的な社会福祉政策・制度では多様化するニーズに十分応えることは難しくなってまいります。バリアフリー社会とかノーマライゼーションと言う言葉が良く聞かれるようになりましたが、私たち一人一人の身近な問題として避けて通ることは出来ず、保険業界においてもこれらの社会ニーズに応えていくことが強く望まれているところです。当財団にあっては、この時代に活躍が大きく期待されている非営利法人として、福祉分野における法律や制度の大転換の動向を見極め、一層先駆的で社会のニーズに応え得る事業を展開し、社会に貢献していくことがますます重要になってきていると考えております。

「我が国の２１世紀は福祉の世紀」とも言われますが、従来から取り組んでおります福祉諸科学事業と合わせて、福祉分野における積極的な活動を通して損保ジャパングループの一員として社会貢献の一翼を担ってまいる所存でございます。

新しい年を迎えられ、皆様方のますますのご活躍、ご健勝を心からお祈り申し上げますと共に、本年も昨年同様の暖かいご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。